

令和7年度 園 評 価

大垣市立川並幼稚園

【園の教育目標】
 すなおでたくましい かわなみのこ
 ・じょうぶになるよ 元気に遊び、がんばる子
 ・やさしくなるよ 仲よく遊び、思いやりのある子
 ・かしくなるよ 楽しく遊び、思いを表す子

令和6年度の園評価より
 ・各年齢それぞれの資質・能力を育むために必要な経験を得ることができるよう、ねらいとそれを達成するための手立てを明確にした指導計画を作成し、常に幼児教育内容の改善を図り、幼児教育の質の向上に努める。
 ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達気持ちに気付いたりすることができるよう保育者が仲立ちをして、遊びを進めているようにする。
 ・様々な支援方法を学び、子どもの実態に合わせた支援をしたり、家庭と情報共有したりして、連携を深める。
 ・地域の方や小学生・他園の園児との交流を継続して行い、園外の方々とのコミュニケーションが図れるようにしていく。

4段階評価 ○保育者 ☆関係者 ●課題

観 点	短期目標	自己評価	保護者評価	評価及び意見の概要
保育・幼児教育の充実	作成・計画の改善 ねらいとそれを達成するための手立てを明確にした週案を作成し、PDCAサイクルをして改善する。	4.0		○短期の指導計画（週案）のねらいや反省の中に10の姿を記載することで、活動のねらいが明確になり、担任と加配が共有して、具体的な援助ができた。 ○週案会では、次週の予定の打ち合わせが主となっていたが、今週の課題が次週に繋がるような話し合いを行い、短期指導計画（週案）に反映することで、振り返りを保育に生かすことができた。 ●3歳児と5歳児の異年齢保育であったので、発達に合わせた経験ができず、計画通りに進まないこともあった。
	健康な体づくり 【じょうぶになるよ】 室内外で体を動かすことを楽しみ、丈夫な体づくりをする。	4.0	4.0	○子ども自身が自分で目標を設定した『チャレンジタイム』を設けたことで体力が付き、自己肯定感も高まり、楽しく体を動かすようになった。 ○年間を通して、継続的に体を動かせるように体操やリズム遊び等を取り入れたことで、一人一人の発達に合わせた援助をすることができた。 ☆体づくりで、チャレンジタイムを設けたり、継続的に1年間通して取り組んでいたりする活動はよいことで、これからも継続的に取り組んでほしい。 ☆外遊びや室内遊びでのサーキットなど、みんなで一纏めに活動する中で、遊びのルールや社会性などが学習できている。また、異年齢で行うことで真似をしたり、思いやる心も育っていて、お互いにプラスになっていると思う。 ☆四季を感じることができると、十分に活動できる園庭、遊びを通して体力づくりができる遊具の数々、申し分のない環境で、十分に体を動かす園児達を見て、嬉しく思う。 ●体感の弱さや姿勢維持の難しさ、よく転んで怪我に繋がること等があるので、一人一人の体の育ちの差に合った方法での体づくりを継続的に実施し、その指導について話し合い、学び合えるとよい。
	社会的発達 【やさしくなるよ】 【かしくなるよ】 同年齢児や異年齢児と関わる中で、自分の思いを言葉や表情で伝えたり、相手の思いに気付いたりする。	3.3	4.0	○集団遊びや行事を通して、友達を誘って遊ぶ姿や友達と一緒に作り上げて楽しむ姿が増えた。 ○朝の会や帰りの会などで自分の思いを話す機会をつくったことで、自分の思いを言葉にして伝えることができようになった。 ☆集団遊びや他園との交流などの活動を通して、友達に対する接し方、声掛けの仕方などを学ぶことができているように思う。一人一人の発達の違いを認め合えるような声掛け・指導が一層求められる。 ☆幼児の発達から見て、もう少し大きな集団で色々な葛藤の場面を乗り越える体験をさせたい所だが、現状はなかなか困難なため、他園との交流保育を試むなど、工夫されている。一番近い公立園と定期的な交流保育は、受け入れる園の事情もあるので、難しいかもしれないが、検討してほしい。 ●相手の思いに気付くことが難しく、自分の思いを通そうとする姿も見られ、相手にも色々な感情があることを知らせ、折り合いを付けていけるように指導していく。 ●少人数のため様々な意見が出てこないため、保育者同士での言葉の掛け合いを見せたり、言葉を引き出ししたりする必要がある。
子育て支援の充実	保護者・地域との連携 園から保育や子どもの姿を情報発信したり、家庭での様子を聞いたりして、子どもの育ちについて連携を図る。	4.0	4.0	○降園時にその日の園での遊びや姿を具体的に家庭に伝えたり、園だよりやクラスだよりで情報発信したりして、保育の意図を伝えて、家庭でも実践していただけるよう連携を図った。 ☆園での子どもの姿を毎日、保護者に伝えることは大変だが、毎日伝えていくことで、保護者も安心できるので、根気よくお願いしたい。 ☆毎月の通信やお迎え時の先生からの話で、園児の様子や手取るようになり、今チャレンジしている事や出来るようになった事など、よく分かるようになってきていると感じる。 ●園の思いを保護者に様々な方法で、工夫して伝えていく。
	地域の方や小学生・他園の園児と交流をして、ふれ合うことに慣れる。	4.0	4.0	○芋ほりや買い物体験など、地域の方々と関わる機会を設けたことで、園外保育で自分から挨拶し、親しみをもって連携を深めることができた。 ○他園と交流する機会を設け、同年齢児や異年齢児と関わることに慣れた。 ☆色々な交流の場を設けていて、子どもの学びが広がり、家庭でやらないような活動もできて、よい体験だと思う。また、様々な活動をしてみえる地域の方に声を掛けて、来ていただくのもよいと思う。 ☆たまに園に行くと元気に挨拶をしてくれる姿があり、よいことだと思う。 ●他園の園児や地域の方と関わる機会を充実させ、一緒に遊んだり、話したりすることができるよう、仲立ちして、働きかけていく。
資質向上・専門性	研修・研究 自分のキャリアステージに応じた研修により、保育者としての資質向上を図る。	3.0		○今の自分が何を学ぶべきかを「大垣市版保育者育成指標」をもとに考え、選択して研修に参加することができた。 ○自分が学んだことだけでなく、他の職員の研修報告の内容を実際に試してから、保育に取り入れることができた。 ●自主的に参加する研修に申し込み、保育者としての資質向上に努めたい。
	職員間で連携を図り、保育を学び合う。	4.0		○毎日の保育の悩みや葛藤をその日の内に話すことで、色々な意見を聞いて前に進むことができた。また、お互いの保育を学び、連携を図って共通理解することに努めた。 ●1クラスしかない為、他の保育を見て学ぶ機会が少ないので、他園との交流や他園の公開保育での学びを自分の保育にも生かしていく。

【次年度に向けて】

- ・一人一人の発達に合わせたねらいを立て、それを達成するための手立てを明確にして、短期指導計画を作成する。幼児教育の内容の評価と改善を特に心がけ、幼児教育の質の向上に努める。
- ・全職員が危機管理意識をもち、起こり得る様々な危機を想定した訓練を実施して、未然・再発防止、早期対応に努めて、安全・安心な園生活を送れるようにする。
- ・園内外での関わりを通して、自分の思いを表現したり、友達の思いに気付いて寄り添ったりしながら、友達との関わりを広げていく。
- ・自分のキャリアステージに応じた研修や多様な研修に積極的に参加し、保育者としての資質向上を図る。